

ホタルの里

(小田川地域農村資源・
環境保全推進委員会)



県内外から人が
集まるホタルまつり

小田川地区は韮崎市の北部に位置し、塩川と七里岩に挟まれ、塩川に沿って広がる田園地帯です。塩川からの水を生かした水稻栽培が盛んで、昭和57年から平成10年にかけて実施したほ場整備事業により大型機械の導入が可能となったことから、効率的な営農がされています。

また、かんがい排水事業において水路改修を実施するとともに、残った水路敷きを利用してホタル水路を設置するといったホタル愛護活動が長年続けられ、県内でも有数の「ホタルの里」になりました。近年では毎年6月に「小田川ホタルまつり」を開催しており、ホタルの中では大型のゲンジボタルの観賞やホタルを入れるかご作り体験などを実施し、都会ではなかなか目にすることの出来ないホタルと間近に触れ合うことができます。

ホタルの見頃と

その特徴

小田川地区のホタルの見頃時期は6月上旬～中旬ごろ。「日没から2時間後」がホタルの活動時間のピークといわれており、20～21時の間がおすすめの観賞時間です。ゲンジボタルの体長は12～15ミリあり、強い光を2～4秒おきにゆっくり出すのが特徴です。



完成した
ホタルを入れるかご



ホタルを入れるかご作り体験



小田川ホタルまつり



光を放つゲンジボタル

ホタルを守り、農業も守る

この地域の自然や農村風景を守り、盛り上げていくのが、多面的機能支払交付金を10年以上にわたり活用し、農村振興に心力を尽くしている「小田川地域農村資源・環境保全推進委員会」（以下、小田川保全会）になります。

（活動取組面積：田17.5ha）

小田川保全会では、農地、農道、水路の保全管理に取り組みと共に生態系保全活動にも積極的に取り組んでいます。

ホタルの愛護活動は、昭和61年に結成した「小田川ホタル愛護会」を中心に人、ホタル、地域の関わりを深めるなどの活動を実施しており、同愛護会では、ホタルの幼虫を捕獲し独自に開発した飼育装置によって養殖した上で川に放流をしてホタルの数を増やしています。

この活動が評価され、平成元年に環境省の「ふるさといきもの里百選」に選ばれ、「ホタルの里」としてその名を広めました。

小田川保全会の活動と受賞

小田川保全会の多様な活動

- ・ 都内企業の研修（農業体験）の誘致や、ホタルまつりでは東京からの参加者も多く来場し、都市農村交流を促進。
- ・ 都市農村交流を通じて、新たな担い手や農家民宿の起業などにつなげる。
- ・ 計画的に施設の補修・更新工事を自分達で実施し、技術の伝承を図るとともに、地域住民の施設に対する意識の向上に貢献。

これらの活動が評価され、令和4年度に「関東農政局多面的機能発揮促進事業局長表彰」で最優秀賞を受賞しました。



生態系保全活動



独自に開発したホタル飼育装置を使って養殖

地域資源保全活動



農道の舗装など全て自分達で実施

地域住民と交流活動



子供達とホタルの観察や養殖したホタルの放流を実施



水路補修の実技研修を実施し、技術を伝承

企業との交流活動



都内企業の研修（農業体験）を誘致した都市農村交流

景観保全活動



遊休農地発生防止のため、休耕地や周辺の草刈りを定期的にも実施